



ようこそ島原へ

兄弟都市提携40周年記念

豊後高田市親善訪問団が来島



島原へようこそ



永松豊後高田市長から
横田島原市長へ記念品の贈呈



不知火まつりを見学



交流会



雲仙普賢岳噴火災害犠牲者追悼之碑へ献花



ジオツアーを満喫

大分県豊後高田市と島原市は、兄弟都市提携40周年を迎えました。これを記念して豊後高田市では島原市への訪問団を結成し、10月17日と18日の2日間、島原市を訪れました。両市はこれまで、兄弟都市提携10周年ごとにお互いの市を親善訪問して友好を深めており、昨年は、島原市が訪問団を結成し豊後高田市を訪問しています。

永松博文豊後高田市長や金谷吉弘訪問団長をはじめ、各界の代表者や一般公募で集まった豊後高田市民など約100人で結成された訪問団は、10月17日に来島し、多くの島原市民が出迎えました。訪問団は、しまばら温泉不知火まつりや雲仙岳災害記念館を見学した後、島原市民との交流会を実施し、記念品の贈呈や両市からの出し物などで交流を深めました。翌18日には、仁田団地第一公園の雲仙普賢岳噴火災害犠牲者追悼之碑に献花の後、平成新山や武家屋敷などの観光スポットを見学し、島原の自然や歴史、風情を感じてもらいました。

今回の訪問では、お互いのことを知り、交流を深める良い機会となることも、兄弟都市の絆を一層強いものとすることができました。



観光ボランティアが御案内